

平成24年度「福井新々元気宣言」推進に係る施策の実施結果 (平成25年3月末現在)

「福井新々元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成24年4月に掲げた施策・事業の実施結果について、次のとおり報告します。

平成25年3月

会計管理者 半澤 政章

I 総括

1 適正な会計事務の執行の確保と公金の効率的な運用

- ・ 適正な会計事務の執行を確保するため、複数職員による会計事務処理の徹底や所属長と出納員による月次単位での照合、所属長による年間単位での自己点検を実施するとともに、その内容を確認しました。
- ・ 会計検査規程を見直し、所属内での内部統制や収納事務、支払事務に重点を置いた検査を行い、併せて納品した物品の直接確認や業者帳簿等との照合を行いました。また、主に出先機関を対象に、会計事務執行状況の抜打ち検査を実施しました。
- ・ 支払資金の不足が予想される場合は、基金の繰替運用や企業会計からの一時借入を的確に行いました。また、資金に余裕が生じた場合はきめ細かな運用を図りました。

2 工事施工適正化検査の実施

- ・ 工事施工中の早い段階で、施工計画書どおり施工されているかなどを確認し、適正な施工管理や、安全管理等の指導を徹底しました。特に、請負額の低い工事や等級の低い受注者に対し、改善をきめ細やかに指導しました。

II 施策項目にかかる結果について

- ・ 別紙「平成24年度 施策項目にかかる実施結果報告（会計局）」のとおり

平成24年度 施策項目にかかる実施結果報告(会計局)
(平成25年3月末現在)

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	会計管理者	氏名	半澤 政章
項 目		実 施 結 果	
<p>◇適正な会計事務の執行と公金の効率的な運用</p> <p>・適正な会計事務の執行 所属長が行った会計事務自己点検結果についてのヒアリングを実施し、購入物品の現物確認や予算執行状況について直接確認を行います。 また、全所属を対象に支払いに際しての事前指導、購入した物品の業者帳簿等との確認を行い、予算の計画的な執行や適正な会計事務処理を徹底していきます。 補助金交付団体についても、補助金交付事務マニュアルにより、適正な会計事務処理が徹底されるよう指導します。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>適正な会計事務執行を確保するため、新たに次の事項を実施しました。</p> <p>① 複数職員による会計事務処理を徹底するため、支払審査入力之二重化などを実施</p> <p>② 所属内での内部牽制機能を強化するため、所属長と出納員による、月次単位での帳簿と会計書類の再照合を実施</p> <p>③ 所属長による、年単位での会計事務自己点検の実施</p> <p>出先機関に対する会計検査規程を見直し、所属内の内部統制や収納事務、支払事務に重点を置いた検査を実施するとともに、納品した物品の直接確認や業者帳簿等との照合も行いました。</p> <p>・検査対象所属 120所属 (全出先機関)</p> <p>・購入物品の現物確認件数 1,204品目</p> <p>さらに、会計事務執行状況について、抜打ち検査を実施しました。</p> <p>・抜打ち検査実施所属数 13所属</p> <p>予算の計画的な執行を図るため、全所属を対象とした研修を実施したほか、自己点検結果に基づく個別指導など、事前指導を強化しました。</p> <p>・会計事務研修実施回数 14回 参加職員数 延べ887人</p> <p>補助金交付団体についても補助金交付事務マニュアルを基に検査し、団体内での内部牽制体制などについて検査確認を行い、適正な処理が徹底されるよう指導しました。</p>	
<p>・公金の効率的な運用 公金管理については、収支計画の精度を高め、収支状況を注視し、支払資金不足が予想されるときは、基金の繰替運用および企業会計からの一時借入を活用することにより、金融機関からの借入縮減を徹底します。 また、余裕資金については、元本の安全性を確保しつつ、より有利な条件での確な運用を行います。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>今年度、地方交付税の分割交付措置に伴い、支払資金が不足した際には、基金の繰替運用や企業会計からの一時借入を的確に実施しました。 また、余裕資金については、収支状況を注視し、きめ細かな運用を図りました。</p> <p>・歳計現金運用に伴う利子収入 (25年3月末現在) 19,248千円 (平均利率0.080%) (平成23年度末実績 16,525千円 (平均利率0.083%))</p>	

役職	会計管理者	氏名	半澤 政章
項目		実施結果	
<p>◇ 工事施工適正化検査の実施</p> <p>工事工程の早い段階において安全管理・施工管理等が適正に行われているかを事前通知なしに検査し、不適切な事項があれば請負者に対し改善を求め、適切な施工を指導することにより工事の品質を確保します。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>工事施工中の早い段階で、施工管理・安全管理・品質管理・工程管理・環境への配慮などについて重点的に検査・確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査件数 100件 <p>その結果、法令違反等の重大な改善事項はありませんでしたが、不適切な事項については文書指導により改善を求め、適正な改善結果の報告を受け、品質の向上を図りました。</p> <p><改善された主な事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事現場への立ち入りを防止するための夜間も認識できるバリケードを設置 ・ 歩行通路内にある突起物を避けるよう誘導するためのバリケードを設置 ・ 工事が著しく遅れている箇所は今後の工程計画の検討を指導し、遅れを改善 	